

第六十七回帝國議會
衆議院

勞働者災害扶助法中改正法律案外二件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

勞働者災害扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
工場法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
鑛業法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和十年三月二十日(水曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 森田 政義君

理事山口忠五郎君 理事高野 喜六君

増田 金作君 松尾 孝之君

小池 仁郎君 比佐 昌平君

清水留三郎君 伊禮 肇君

龜井貫一郎君

同月十九日委員鈴木正吾君辭任ニ付其ノ補闕トシテ伊禮肇君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官 赤木 朝治君

社會局書記官 北岡 壽逸君

拓務書記官 小河 正儀君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 杉本國太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働者災害扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

工場法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

付)

鑛業法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○森田委員長 是ヨリ開會致シマス、勞働者災害扶助法、工場法、鑛業法ノ改正法律案ヲ一括シテ議題ト致シマス——一寸私カラ御伺シテ見タイト思ヒマスガ、此勞働者災害扶助法、工場法、鑛業法ノ此規定ト云フモノハ、從來ノ觀念上故意過失ニ基カザル損害賠償ハ出來ナイト云フノガ、民法上ノ原則デアリマシテ、勞働者災害扶助法ノ規定ハ、例外ヲ破ッテ過失ノナイ場合ニモ、損害賠償ノ意味デ以テ給與又ハ扶助ヲスルト云フ、規定ヲ置カレタモノト想像スルノデアリマスガ、政府ノ見解ハドンナモノデアリマセウカ

○赤木政府委員 御話ノ通り扶助法ノ趣旨ハ、過失ノナイ場合ニ扶助ヲ致シマス趣旨デアリマス、寧ロ反對ニ重大ナル過失ガアル場合ニハ、扶助ヲシナイト云フヤウナ規定ニナッテ居リマスノデ、過失ノナイ場合ニ於テモ、扶助ヲ致スト云フ趣旨ニ相成ッテ居ルノデアリマス

○森田委員長 重大ナル過失ト云フコトハ、所謂扶助法ノ債權者ノ方面ノ意味デアリマシテ、債務者ノ方ニ重大ナル過失ガアルト云フ場合ニ、責任ガナイト云フ意味ダラウト思ヒマスガ、今ノ政府委員ノハ救助ヲ受ケル方、即チ債權者ニ屬スル方ノ過失ヲ言ッタノデハナイデスカ

○赤木政府委員 其通りデアリマシテ、事業主ノ方ニハ過失ノ有無ヲ問ハナイデ、其事故ガ起レバ扶助ヲ致ス趣旨デアリマス、ソレカラ勞働者ノ側、即チ扶助ヲ受ケル方ノ側カラ申シマスレバ、重大ナル過失ノアル場合ニハ扶助ヲ致サナイ、斯ウ云フコトニナリマス

○森田委員長 サウシマス此規定ト云フモノハ、結局ハ從來ノ觀念カラ故意過失ヲ原因トスル損害賠償ノ意味ノミデハ、勞働者ノ地位ガ確保サレナイカラ、故意過失ノナイ場合デモ、責任ヲ負ハセルト云フ規定デアリマス、詰リ損害賠償例外ノ規定デアリマス、サウシマス茲ニ損害云々ノ場合ニハ、其限度ニ於テ扶助義務者ハ義務ヲ免レル規定ノ必要ハナイと思フ、政府ノ御所

見ハドンナモノデアリマセウ

○赤木政府委員 此扶助ヲ致シマスルノハ、故意過失ノナイ場合ニモ扶助ヲ致スノデアリマスルガ、例ヘバ其設備等ニ付テ不完全ナ所ガアッタト云フコトノ爲ニ、損害賠償ノ問題ガ起リ得ル場合ガアルノデアル、此損害賠償ノ起リ得ル場合ト、扶助致シマスル場合トノ、重複スル場合モアルノデゴザイマスカラ、其場合ニハ、損害賠償トノ關係ヲ規定致シテ居ル次第デアリマス

○森田委員長 只今政府委員ノ仰セニ依リマス、此扶助法ト云フモノハ、故意過失ノアル場合ハ當然、故意過失ノナイ場合モ、扶助ノ義務ヲ認メルト云フ規定デアリマスルカラ、即チ損害賠償モ含マッテ居ル、サウシマス此問題ニ付テ、損害賠償ト扶助義務ト重複スルト云フヤウナモノデハナイと思フ、詰リ故意過失ノ場合ハ當然デアルカラ、過失ヲ含マナイ場合デサヘモ之ヲ認メルノデス
故意過失ノ場合ハ當然デスカラ、私ハ損害賠償ノ規定ヲ、特別ニ規定スル必要ハナカラウト思フ、政府ノ御所見ハドンナモノ

デセウ

○赤木政府委員 故意過失ガアリマシテモ、損害賠償ヲ致スト云フ場合ニ於キマシテモ、扶助ヲ致スト云フコトガアリ得ルノデアリマス、即チ其場合ニハ損害賠償ト扶助ト重複ヲスルト云フ場合ガアリ得ルト考ヘルノデアリマス、故意過失ガアッテ損害賠償ヲスルト云フ場合ニハ、扶助ヲシナイト云フコトニナッテ居リマスナラバ、重複シナイノデアリマスガ、其場合ニモ扶助ヲ致スノデアリマスカラ、扶助ヲスル場合ト損害賠償ノ場合トガ、重複致ス場合ガアリ得ル譯デアリマス、隨テ其場合ニ重複シテハ、扶助ト損害賠償ト重複シテハ致サナイト云フ趣旨ニ於テ、其相互ノ關係ヲ規定スル必要ガアルト云フノデアリマス

○森田委員長 只今ノ政府ノ御見解ハ能ク分リマセヌガ、是デハ當然——詰リ故意過失、即チ損害賠償、損害賠償ノ從來ノ觀念上認メラレナイ故意過失ハ勿論デアルガ、故意過失デナイ場合ニモ、事業主ニ責任ヲ有タセナイト云フト、勞働者ノ地位ガ確保サレナイ、故意過失ハ即チ損害賠償、損害賠償ノ茲ニ變態ヲ呈シテ居ル、故意過失ハ當然含マレテ居ル、ダカラ損害賠償ヲ茲ニ特例法ヲ規定サレタ以上ハ——是ハ例外法、例

外法ヲ規定シタ以上ハ、一般法ノ損害賠償

ノ問題ヲ茲ニ規定スル必要ハナイと思フ。
○赤木政府委員 御疑念ハ御尤デアリマシガ、此規定ヲ設ケルニ至リマシタノハ、是マデ左様ナ事件ガ起リマシテ、其事件ニ對スル判例ニ於キマシテハ、災害扶助ト云フコトハ損害賠償ト云フコト、ハ別個ノ問題デアル、扶助ハ扶助デ、損害賠償ハ損害賠償デアル、隨テ扶助ヲシテモ尙且ツ損害賠償ノ責任アリト云フ判例ガゴザイマスカラ、其判例ヲ覆ス爲ニハ、斯様ナ規定ヲ必要トスル次第アルノデアリマス

○森田委員長 結局ハ押問答ニ終ルノデスカラ、ソレハマア其程度ニ致シマシテ、所謂催告ノ抗辯デスネ、催告ノ抗辯ヲ、此勞働者災害扶助法ト云フノハ、勞働者ノ地位ヲ確保スルノ規定デアッテ、相次デ爲ス場合ニ、前者ノ責任者ガ後者ノ直接ノ責任者ニ催告ノ抗辯ヲスルト云フ、催告ノ抗辯ヲ置クト云フコトハ、ソレハ詰リドッチニ行ッテモ、アチラヘ行ケ、先キヘ行ケト云フコトカラ、斯ウ云フ規定ヲ置クノダト言ハレルノデスガ、ソレヲ擴メテ行クト、彼方ノ方ハ金ヲ持ッテ居ルカラ、先ヅ裁判ヲシテ呉レト云フヤウナコトガ起ッテ來ヤセヌカト思フ、先ヅ向フノ方カラ訴ヘルト云フコト

ニナル、サウ云フ抗辯ヲ——政府ノ答辯ニ依リマスルト、二人アル場合ニハ二人ノ者

ニ請求スル、アレヲ先キニシテ呉レト云フコトカラ、此規定ヲ置イタノダト、斯ウ云フ御辯明デスガ、之ヲ置クト云フト、向フガ金ガアルカラ向フカラ取ッテ呉レト抗辯者ガ出テ來レバ、後日サウ云フ争ガアルカラ、全ク連帶ノ觀念ヲ離レタ抗辯ヲ認メルト云フヤウナ結果ガ將來來ヤセヌカ、然ル場合ニ政府ハ又全ク勞働者ノ、詰リ地位ヲ確保スベキモノヲ薄クスル規定ヲ設ケル前提ニナリハセヌカ、斯ウ云フ規定ヲ私ハ寧ロ置カレナイ方ガ宜クハナイカ、ドチラデモ要スルニ内容證明ヲヤルノデセウ、ドッチヘデモ——二人アレバ二人、三人アレバ三人ニ内務省ガ出サシタ方ガ宜イデアリマセヌカ、遠イ者ニ向ッテ、先ヅ近イ者ニ請求シロト云フヤウナ抗辯ヲスルト云フコトハ、立法ノ趣意デヤナカラウト思フ、催告ノ抗辯ヲ認メルト云フコトハ、勞働者ノ地位ヲ薄弱ナラシムル規定ト思ヒマスガ、政府ノ御所見ハドンナモノデアリマスカ
○赤木政府委員 其點ハ先日モ御質問ガアリマシタ點デゴザイマスガ、實際問題ト致シマシテ、ドチラカラデモ請求ヲ致シテ宜シイト云フコトニナッテ居リマスレバ、多ク

ノ場合ニ於キマシテ、先ヅ甲ノ者ニ請求致

シマスレバ、自分ハ拂ヘナイカラ乙ノ者ニ請求シロ、乙ニ請求シマスレバ、丙ニ請求シロト云フコトニナリ易イノデアリマス、ソレデ大體順序ヲ付ケテ置キマシテ、一番勞働者ト關係ノ近イ即チ直接ノ使用者ニ先ヅ第一ニ請求ヲスルヤウニト云フ、催告ノ權利ヲ働ク者ニ認メテ置キマスと云フコトガ、其順序ヲ付ケル點カラ便利デアルト思フノデアリマス、サウシテ斯様ニ致シマスルコトハ、勞働者ノ扶助ヲ受ケマスル權利ヲ少シモ阻害シナイノデアリマス、其催告ヲ致シマシテ、扶助ヲ受ケラレナイ場合ニハ、更ニ上級ノ事業主ニ請求シ得ル、斯ウ云フ風ニナル、是ガ爲ニ少シモ勞働者ノ扶助ヲ受クルト云フ點ニハ、障礙ハナイト考ヘマス次第デアリマス
○森田委員長 結局ハ請求ト云フモノニハ、色々ナ法律上ノ時効中斷トカ、求償權ノ問題トカ、民法上ノ權利ナドニ對スル催告ニ付テハ、色々ノ效力ガアリマスガ、結局ハ給付ヲ受ケナケレバ經濟上ノ目的ハ達セラレナイ、唯催告シタノミデ、所謂實際ノ給付ヲ受ケナケレバ、何等實益ノナイコトデアル、唯催告ノミヲヤレト云フコトヲ第二次ノ者ニ言ッテ見タ所ガ、ソレハ何等ノ

效力ガナイデヤアリマセヌカ、或ハ民法上
時効ノ中斷トカ、或ハ求償權ノ問題トカ云
フモノハ別デアリマスガ、事實上催告ノミ
デハ給付ハ來ナイノデアリマスカラ、事實
ハ給付ヲシテ貰ハナケレバ何モナラナイ、
デスカラ給付ニ到達シナイ、請求シテ勿論
給付ト云フモノハ生ズルノデスガ、請求ノ
ミヲ前ノ者ニシロト云フヤウナ規定ヲ置カ
レテモ、是ハ何等無意味デハナイカ、經濟
的價值ガナイト云フ風ナ規定ノヤウニ私ニ
ハ思ハレマス、政府トシテハドウ御考ニナ
リマスカ

○北岡政府委員 只今ノ委員長ノ御疑念
ハ、法律問題若ハ裁判問題トシテ考ヘレ
バ、洵ニ御尤ダト思フノデス、唯實際問題
トシマシテ、扶助ト云フヤウナ割合ニ少額
ノ給付、而モ受ケル者ハ怪我ヲシタ労働者
デアリマシテ、之ヲ給付スル者ハ之ヲ使ッ
テ居ル事業者デアリマスカラ、斯ウ云フ場
合ニ裁判問題ニナルト云フヤウナコトハ、
千ニ一ツ、百ニ一ツモ無イノデアリマス、
斯ウ云フモノハ大部分當事者ノ間ニ於テ解
決サレマス、若シ當事者ノ間ニ意見ノ一致
ヲ缺キマシタ場合ニ於キマシテハ、是ハ警
察官若ハ工場監督官トカ、府縣ノ役人ガ立
入ッテ世話ヲスルノデアリマシテ、之ヲ辯護

士ヲ頼ンデ裁判ヲスルト云フヤウナコト
ハ、全ク稀有ナ事件デアリマス、サウシマ
スト裁判外ノ問題ニ付テ考ヘマスル場合
ニ、先ヅ誰ノ扶助ヲ受ケルカト云フ順序ガ
決ッテ居リマセスト、裁判ニ掛ケマスレバ、
ドチラモ均等ニ義務ヲ負擔スル譯デアリマ
スカラ、非常ニ強イ譯デアリマスガ、裁判
外ノ實際問題トシテ考ヘル場合ニハ、順序
ノナイ者ガ二人居リマス、ドチラモ自分
ガ全責任ヲ負ハナイヤウナ氣ガシマシテ、
彼方ニ行ケ、此方ニ行ケト云フヤウナコト
ガ起リマシテ、實際労働者が請求スルノニ
困ル、ヤハリ先ヅドチラニ行ケ、サウシテ
先ヅ自分ヲ使ッテ居ル方ノ下請負ノ方ニ行
ク、是ガ呉レナイ場合ハ、其上ニ行クト云
フコトニシマシタ方ガ、實際上ノ扶助請求
ヲ圓滑ニシ、順序アラシメルニ都合ガ好イ、
役所ノ方ハ事業者ヲ喚ビマシテ、請求ヲス
ル場合ニモ直接責任者ヲ喚ビマシテ、ソレガ何
カ文句ガアル場合ニ於キマシテハ、更ニ上
ノ責任者ト云フコトニシマス方ガ喚ビ易
イ、ドウモ裁判外ノ問題トシマシテ御考下
サレバ、此規定ガ實際ニ便デアルト云フコ
トガ分ルト思ヒマス

○森田委員長 サウシマス此規定ヲ置ケ
バ、事實上裁判外ニ於テ取扱フコトガ極メ

テ容易デアル、斯ウ云フ政府ノ御考ノヤウ
ニ伺ハレルノデアリマス、ソコデ之ヲ大正
七年ノ七月カラ施行サレテ居リマスガ、其
施行サレタ後ニ於ケル成績、全國デドノ位
災害者ガアッテ、ソレガドノ位裁判外デ問題
ガ解決サレテ、裁判所ニ上ッタ事件ガドノ
位アルカ、政府ノ方デ御調ノコト、思ッテ
居リマスガ、精密ニ分ラヌデモ、凡ソ概略
デモ結構デゴザイマス

○北岡政府委員 扶助ノ金額ハ、大雜把ニ
申シマシテ、一年ニ約百萬圓デアリマス、
件數ハ小サイ件數モ算ヘマス、隨分多ク
ナリマスガ、約三萬件以内デアリマス、サ
ウシテ裁判事件ニナリマシタ件數ハナイト
思ッテ居リマス、是ノ扶助ヲシナケレバナ
ラス場合ニ、縣廳トカ何カデ喚付ケテ、若
ハ警察官ガ立入ッテ話シタ例ハ相當多數ア
ルト思ヒマス、併ナガラ裁判ニナッタ例ハ
ナイト思ヒマス

○森田委員長 今ノ裁判ノ例ヲ出シテ居ラ
レルノハ、ドウ云フ事件デスカ

○北岡政府委員 アレハ工場法デス

○森田委員長 工場法及鑛業法ハドシナモ
ノデスカ

○北岡政府委員 工場法、鑛業法ニ於キマ
シテモ、扶助ダケヲ民事裁判ニ出シマシタ

例ハ殆ド無イノデス、扶助ハ違反シマシタ
場合ニハ、罰金ノ制裁ガアリマスカラ、縣
廳ノ方デ告發シマシテ、刑事裁判ニナリマ
スケレドモ、サウ云フ場合デサヘモ殆ド無
イノデアリマス、裁判ニナリマスモノハ扶
助デハゴザイマセヌデ、扶助以上ノ事業主
ノ故意過失ヲ理由トシマス、民法上ノ損害
賠償ヲ請求シマス場合ニ、單ニ工場法ト鑛
業法ト扶助ダケデゴザイマス、金額モ少
ウゴザイマスシ、且又モット強力ナ制裁ガ
アリマスカラ、裁判ニナルコトハ絶無ト
言ッテモ宜イ位デアリマス

○森田委員長 結構デゴザイマス、サウシ
マス此此保險契約ハ、一事業毎ニ保險契約
ヲ爲スノデアリマセウガ、今迄ノ保險契約
ノ金高ハドノ位デアリマスカ

○北岡政府委員 保險料收入ニシマシテ年
ニ——去年邊リ百三十萬圓位デアリマス、
保險金デ支拂ヒマスモノガ、其約八割位デ
アリマス

○森田委員長 私ハ是デ止メマス

○伊禮委員 一寸質問致シマス、第四條ノ
「船舶ヨリ若ハ船舶ヘノ貨物ノ積却ノ作業
(動力ニ依リ運轉スル揚重機ヲ用フルモノ
ニ限ル)」ト云フコトニナッテ居リマスガ、貨
物ノ積却ニ從事スル労働者ハ必シモ全部ガ

關係スルノデハナクテ、傳馬船ノ下ニ居
テ荷物ヲ受取ル者モアリマスガ、サウ云フ
者ガ間違テ負傷シテモ、此扶助ヲ受ケル
ノデアリマスガ、斯ウ云フ場合ニハ扶助ノ
方ニ入ラナイノデアリマスガ、其範圍ヲ御
聽キシタイ

○北岡政府委員 其作業ガ動力ヲ使ヒマス
以上ハ、直接動力ヲ使用シマス作業タリ
ト、間接ニ手傳シテ居ル者トヲ問ハズ、全
部入ル積リデアリマス

○伊禮委員 ソレカラ作業ガ動力ニ依ッテ
運轉スル直接ノ關係デナクシテ、非常ニ波
ノ荒イ所デハ、本船ト傳馬船トノ衝突ガ
アツタリ、或ハ波ノ荒イ爲ニ振落サレタリ
シテ、サウ云フ爲ニ怪我スルコトモアリマ
スガ、是ハ全然入リマセヌカ

○北岡政府委員 勞働者ノ往復ノ場合ノ事
故ガ、業務上ノ事故ト言ヒ得ルカドウカト
云フコトニ付キマシテハ、非常ニ問題ガゴ
ザイマシテ、色々ナ場合ニ依ッテ解釋ガ違ッ
テ居ルノデスケレドモ、沖仲仕ノ場合ニ於
キマシテハ、沖ヘ行ク途中ニ於ケル船舶ノ
負傷ト云フモノハ、業務上ノ事故ニ入ル解
釋ヲ採ッテ居リマス

○伊禮委員 ソレカラ此勞働者災害扶助法
ハ、植民地ニハ施行サレテ居ラナイヤウデ

アリマスルガ、尤モ私ガ存ジテ居リマスル
ノハ、特ニ南洋ヲ調ベタノデアリマスガ、
本法ヲ植民地ニ施行サル、御意思ハナイ
カ

アリマスルガ、尤モ私ガ存ジテ居リマスル
ノハ、特ニ南洋ヲ調ベタノデアリマスガ、
本法ヲ植民地ニ施行サル、御意思ハナイ
カ

○赤木政府委員 ソレハ拓務省デナイト一
寸……

○伊禮委員 是ハ外ノ委員カラ御尋ニナッ
タカモ存ジマセヌガ、時効期間ヲ二箇年ト
サレタノハ、ドウ云フ理由デアルカ

○北岡政府委員 扶助ノヤウナ問題ニ付キ
マシテ、長ク請求モシナイデ放ッテ置キマ
シタモノヲ、後カラ果シテ業務上怪我ヲシ
タカドウカ、ドノ程度ノ怪我ヲシタカドウ
カ、又本當ニ治療シタカドウカト云フヤウ
ナコトヲ調ベマスルコトハ、非常ニ困難デ
ゴザイマスカラ、矢張是ハ短期ノ時効ヲ設
ケタ方ガ宜イダラウ、斯ウ云フ考カラ致シ
タノデアリマス、之ヲ二年ト決メマシタノ
ハ、是ノ類似ノモノデアアル所ノ健康保險ノ
給付、又ハ勞働者災害扶助法ノ責任保險ノ
給付トカ、又ハ多少似通ッテ居リマス所ノ
賃銀ノ給付トカ、ソレカラ又民法ノ不法行
爲ノ損害賠償ノ給付、是等ノ時効ヲ參酌致
シマシテ、二年ト致シタノデゴザイマス

○伊禮委員 此請求ガ被害者ノ自由ニ出來
ルモノナラバ、二箇年デモ宜イト思ヒマス

ケレドモ、第四條ノ末項ニ「下級注文者ニ對
シテモ先ヅ催告スベキ旨ヲ請求スルコトヲ
得」、斯ウ云フコトニナルト、注文者ガ一
般ニアル場合ニハ、其間ニ堪ヘズ催告スベ
キ旨ノ請求ヲ受ケマス結果、其爲ニ期間ガ
延ビテ、時効期間ガ完了スルヤウナコトガ
アリハセヌカト云フコトヲ憂フル者デアリ
マス、此四條ノ末項ガナケレバ、二箇年デ或
ハ適當カ知レマセヌケレドモ、今ノ御説明
デ分リマスガ、唯催告ダケデハ中断セヌダ
ラウト思ヒマス、裁判上ノ請求ナラ兎ニ角
ダガ、普通ノ請求ノミデハ時効ハ中断シナ
イ、隨テ請求ヲスルト、其下級ノ注文者ニ
催告ヲセヨト注文スル、サウ云フコトヲ
ヤッテ居ル中ニハ、僅カニ二箇年ト云フト、或
ハ時効満了シヤセヌカト云フコトノ懸念ガ
アルト思ヒマスガ、此條文ガアッテ二箇年
ト云フノハ、餘リニ短キニ失スルノデハナ
イカト考ヘマスガ、政府デハドウ御考ニナ
リマスカ

○北岡政府委員 實ハ今迄餘リサウ長ク
放ッテ置キマシタ事例ト云フモノガ無いノ
デゴザイマシテ、果シテ是ガ爲ニドノ位ノ
勞働者ガ困リマスガ、一寸見當ガ付キ兼ネ
ルノデゴザイマスガ、怪我ヲシマシタ場合
ニ下級勞働者——餘裕ノナイ勞働者ガ扶助

ヲ請求スルノデアリマスカラ、二年モ放ッ
テ置クト云フコトハ、殆ド考ヘラレナイト
思フ、二年モ放ッテ置クト云フコトハ、實
際上必要ナカッタヤウナ場合トカ、業務上
ノ怪我デナイノヲ放ッテ置イタモノヲ、後
カラ考出シテ業務上ダト言ッテ見タリスル
ヤウナ場合デ、實際業務上デ怪我ヲシマシ
テ治療ヲ受ケルト云フ場合ニ、二年ハ愚カ
一箇月デモ放ッテ置クト云フコトハ考ヘラ
レナイ、此下級注文者ニ催告ヲセヨト言ッ
テモ、サウ云フコトヲ考慮ニ入レテ使ハレ
テ居ル者デモアリマセヌカラ、二年ノ時効
ノ經過期間ガ空シク過ギルト云フヤウナコ
トハ考ヘラレマセヌノデ、此爲ニ勞働者ノ
保護ガ疎カニナルト云フコトハ、私共ハ考
ヘテ居リマセヌ

○比佐委員 此改正法律案ノ要點ハ私モ能
ク分ッテ居リマス、併シ非常ニヤ、コシク
ナッテ居リマシテ、又文句ノ上ニ於テモ難解
ノ所モアルヤウニ思ハレノルデアリマス、
是等二三ノ點ニ付テ明瞭ニ致シタイ爲ニ御
伺ヲ致シタイノデアリマス、勞働者ガ災害
ヲ受ケタ場合ニ、例ヘバ鑛山ニ從事シテ居
ル勞働者ガ災害ヲ受ケタ場合ニハ、鑛業法
ニ依ッテ保護サレテ居リ、又工場ニ雇ハレ
テ居ル勞働者ガ災害ヲ受ケタ場合ニハ、工

場法ノ規定ニ依ッテ保障サレテ居リマス、然ルニ一定ノ鑛山及工場以外ノ労働者、之ニ對スル救済ノ途ハナカッタノデアリマス、詰リソレ等ノ者ヲ保護シヨウト云フノガ、此労働者災害扶助法ノ目的デアリマス、今度ノ法律ハ其一部ノ改正デアリマスガ、其第一條ノ「ロ」、是ガ第一改正ノ眼目デアリマス、併シ第一條ノ第二ノ「イ」、道府縣、市町村、又ハ勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ直營工事、即チ府縣町村等ノ公共團體ニ於テスル工事ハ、直營工事が原則デアリマスケレドモ、偶場合ニ依ッテハ請負工事ノ場合モアリマス、サウスルト此時ノ請負工事に云フモノニ依ッテ、労働者が災害ヲ受ケタ場合ニハ、今度ノ改正案カラ除外サレテ居ルト思ヒマスガ、此點ハ如何デアリマスカ

テ、漸次擴張シテ行カウト云フ考カラ致シマシテ、先ヅ公共團體ナラバ、直營ナラバ扶助シテ貰フトカ、電氣、瓦斯會社ノヤウナモノハ、當時土木工事ヲ原則ニヤッテ居ルノデアルカラ、サウ云フ者ニ對シテハ責任ヲ負ハセヨウ、其他ノモノニ付キマシテハ、ドウモ事業主ノ責任トスルコトハ洵ニ困ル、是ハ保險ニシテ貰ハナケレバナラヌト云フ民間ノ強イ要求デ、保險ト致シマス以上ハ、工事毎ニ保險ニシテシマハナケレバナラヌト云フノデ、「ハ」ノ工事トシテ、一定ノ規模ヲ決メマシテ本法ヲ適用シ、「ハ」ノ工事ニ付キマシテハ、強制保險ニ依リマシテ、責任ヲ役所ガ保險事業ニ於テ代ッテ之ヲ引受ケラ致スト云フコトニ致シテ、ヤツト此法規ガ圓滑ニ施行サレタ次第デアリマス、隨テ労働者保護ト云フ點カラ見レバ、拔ケテ居ル所ガ澤山ゴザイマスノデ、只今御示シノ公共團體ノ請負工事ニ付キマシテモ、其點ハ多少此労働者ノ保護上遺憾ナ點ガナイデハナイノデゴザイマスガ、一定ノ規模以上ノモノニ付キマシテハ、「ハ」ノ方デ本法ノ適用ガアルノデアリマス、隨テ殘リマスルモノハ、公共團體ノ工事デ「ハ」ノ工事ニ該當シナイモノ、之ヲ極ク簡單ニ申シマスト、工事請負金額ガ一萬圓以下

ノモノハ、「ハ」ノ工事ニ該當シナイカラ、隨テ公共團體ノ請負工事デ一萬圓以下ノモノハ本法ノ適用ガナイ、即チ怪我ヲシマシテモ扶助サレナイ、ソレハ請負工事ニ付キマシテ、官廳ニ扶助ノ責任ヲ負ハセルト云フコトハ、如何ニモ無理デ出來ナイ、請負業者ハ是ハ保險ニデモシナケレバ出來ナイ、保險ニシマスル以上ハ、何等カ規模ヲ變ヘナケレバ保險ニスル譯ニ行カナイ、此現在決メテ居リマス一萬圓ト云フモノガ大キ過ギルカ、ドウカト云フコトニ付キマシテハ、御議論モゴザイマセウガ、是ハ世界ノ趨勢ニ從ヒマシテ漸次規模ヲ擴大シマシテ、労働者ノ保護ヲ全クスルト云フノガ本旨デアルト思ヒマス、兎ニ角何等カノ制限ヲ付ケナケレバ、一寸十圓ノ工事をスル——植木屋ヲ三日頼ムカラ保險ヲ付ケナケレバナラヌト云フノデハ、一々煩ニ堪ヘナイノデアリマス、ドウシテモ制限ヲ置カナケレバナラヌ、一萬圓ト云フ制限デ、一萬圓ニ該當シナイ請負工事ニ付キマシテハ、労働者保護上遺憾デアリマスガ拔ケテ居ル、其中デ此度一番目星シイモノト致シマシテ、土木、鐵道、軌道、瓦斯、電氣等デ當時ヤッテ居リマス保存、維持ト云フヤウナ工事ダケハ、請負工事デモ適用スルコト

ニ致シタ次第デアリマス

○比佐委員 今度ハ第二ノ「ロ」ノ問題ニ付テ、労働者災害扶助法デハ、「ロ」「鐵道、軌道若ハ索道ノ運輸事業又ハ水道、電氣若ハ瓦斯ノ事業ヲ營ム者ガ其ノ事業ノ爲ニスル直營工事」今度ノ改正案ノ要點ハコ、ニアルト思フノデアリマス、直營工事バカリガ保護サレテ居ッタカラ、今度ハ改正案ニ依ッテ、直營工事及注文ニ依ル工事、即チ請負工事ト云フモノヲ入レタト思フノデアリマス、此工事ノ内容カラ言フト、請負工事はナラ維持、修繕工事ト、新設、擴張工事ト、兩方包含シテモ宜シイト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ御意見ヲ承リマス

○北岡政府委員 維持、修繕ノ工事デゴザイマス、大體繼續シテ常時行ハレマスルカラ、其請負者ニ保險ニ依ラナイデ、労働者ヲ扶助セシメテモ、ソレハ餘リ無理ナシニ行ハレルト思フノデアリマスガ、新設、擴張工事デゴザイマス、普通矢張競争入札デ請負フモノデアリマスカラ、是ハ其他ノ土木建築工事同様、保險ニシナケレバ到底其責任ヲ負ヘナイ、殊ニ又他ノ一般ノ工事を保險ニシテ、鐵道、軌道等ノ運輸事業竝ニ瓦斯、電氣事業等ニ限ッテ、請負工事デモ保險ニシナイデ、請負主ガ責任ヲ負フト云フ

コトハ、非常ニ不公平ニナリマスノデ、矢

張他ノ請負工事同様ニ取扱ツタノデアリマ

ス、要スルニ趣旨ハ維持、修繕ノ工事ハ常

時繼續的ニ行ハレマスカラ、直接請負主ヲ

シテ責任ヲ負ハセル、規模如何ニ拘ラズ、

責任ヲ負ハセル、新設、擴張工事ハ一ツ宛

別々ノ工事デアリマスカラ、是ハ一般ノ他

ノモノト同様ニシマシテ、一定ノ規模以上

ノモノニ限ッテ保障ニヤル、斯ウ云フヤウナ

方針ニ致シ次第デゴザイマス

○比佐委員 此點ニ付テ尙ホ一寸承ッテ置

キマサガ、新設、擴張工事デモ、例ノ一萬

圓ニ充タザル場合ニ對シテ起ツタ問題ニ付

テ、ドウ云フ風ニ處置ナサレマスカ

○北岡政府委員 請負ノ新設、擴張工事デ、

一萬圓ニ充タザルモノニ付キマシテハ、ソ

レハ扶助致シマセヌ、恰モ例ヘバアナタガ

家ヲ建デマシタ場合ニ於キマシテモ、一萬

圓以下ノ工事ナラ扶助法ノ適用ガゴザイマ

セヌデ、大工ガ災害ヲ受ケテモ、法律上ハ

別ニ責任ガナイト云フノト同ジデアリマ

ス

○比佐委員 此事ニ付キマシテハ、後デ私

ハ一寸意見ヲ申上ゲタイト思ヒマサガ、一

萬圓ト決メテ根據如何、例ヘバ九千圓ナラ

災害ノアツタ場合ニモ扶助ハ受ケマセヌ、一

萬圓デナケレバト云フ、此一萬圓ト決メ

タ、此立法當時ノ精神ト申シマセウカ、ソ

レヲ一ツ御説明願ヒマス

○北岡政府委員 一萬圓ト云フコトヲ決メ

マシタノニハ、サウ別ニ數學的ノ根據ガア

タ譯デハゴザイマセヌガ、實際保險ニシタ

リ何カスルヤウナ手續ヲスルノニ、其手續

ニ堪ヘルト云フ限度デ決メテ次第デアリマ

ス、勞働者保護ノ理想カラ申スト、ドンナ

小サナ工事デモ、全部保險ニシテ扶助ヲス

ルト云フコトガ、最モ理想ト思フノデアリ

マスケレドモ、何處カニ制限ヲ置カナケレ

バ、先程申シマシタヤウニ大工ヲ三人雇フ

トカ、植木屋ヲ三日頼ムト云フ風ナコト

ヲ、一々保險ニシナカッタ云フノデ罰金

ヲ食フノデハ、逆モ窮屈デヤリ切レナイ、

何カ矢張制限ガナケレバイケナイガラウト

云フノデ、其制限ヲ先ヅ本法施行當初――

初メテ斯ウ云フ新シイ保險ガ――實ハ此保

險ト云フモノハ、餘リ外國ニモ例ノナイ日

本獨特ノモノデアリマスカラ、斯ウ云フ保

險ガ圓滑ニ行ケルカドウカ、甚ダ疑問ガア

タモノデアリマスカラ、餘リ小サイ工事

ニ及サナイデ、一萬圓ト云フコトニ「ラウ

ンド・ナンバー」ヲ採ッテ決メテ次第デアリ

マス

○比佐委員 此維持、修繕工事ノ問題デゴ

ザイマスガ、例ヘバ電氣會社ナラ電氣會社

ガ、線路或ハ其他ノ營造物ノ維持保存、斯

ウ云フモノヲ會社ガ直營デヤル場合ハ、勿

論直營工事ニ入リマス、ソレヲ或ル一定ノ

者ニ請負ハシテヤル、其請負人ト會社トノ

關係ハ、殆ド一體ノヤウニ看做シテモ宜シ

イ、此意味ニ於テ請負人ニ依ッテ使用サレ

テ居ル勞働者ニ災害ガ起キタ場合ニハ、會

社モ同様ノ責任ヲ有ツ、此立法精神ハ洵ニ

結構ナコト、思フノデアリマス、サウ云フ

ヤウナ場合ニモ、俗ニ能ク請負人ノ又下ニ

請負人ト云フ者ガアツテ、請負關係ガ二重ニ

モ三重ニモナツテ居ル例ハ随分アルト思フ

ノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テモ勿論全

部共同デ、第一、第二、第三ト、皆責任ヲ

有ツコトニナルト思フノデアリマスガ、其

點トソレカラ請負人ガ單純ナ――一人デナ

ク上請、下請ト云フヤウナ關係モアリマス

ガ、日本全國ノ狀態ガドウ云フ風ニナツテ居

リマスカ、其點ノ御調ヲ御説明ヲ願ヒマス

○北岡政府委員 只今ノ第一條ノ第二號ノ

「ロ」ニ關スル限りニ於キマシテハ、サウ請

負ガ複雑ニナツテ居ル例ハ少イト聞イテ居

リマス、請負人ガ直接勞働者ヲ使ッテ、會社

ノ命ヲ受ケテ維持、修繕ノ工事ニ當ッテ居ル

ト思フノデアリマスガ、其場合ニ於キマス

ル責任者ハ、本法ニ依リマスルト幾人モ居

ナイノデアリマシテ、直接勞働者ヲ使ッテ

事業ヲ爲ス第一ノ責任者其者ガ拂ヘナイ場

合ニハ、所謂上請ト云フモノヲ拔キマシ

テ、軌道運輸會社ト申シマスカ、瓦斯電氣

事業會社等ガ、扶助ニ付テノ責任ノ地位ニ

立ツ譯デアリマス、一般ノ土木建築ニ於キ

マシテモ、餘リニ責任者ノ數ヲ多クスルト

云フコトハ、徒ニ複雑ニシテ、却テ扶助ノ

確保ニ不便ナノデアリマシテ、下請ニ責任

ヲ及ボス場合ニ於キマシテモ、ソレヲ二人

以上デハイカナイ、勞働者ハ直接自分ノ使ッ

テ貰ッテ居ル者ニ行ッテモ、ソレガイケナケ

レバ、一番大キイ元請ニ行ク、斯ウ云フヤ

ウナ精神ニナツテ居リマス、隨テ土木建築ニ

於キマシテハ、二人以上ハナイノデアリマ

ス、唯沖仲仕ノ場合ニ於キマシテハ、三段

ゴザイマスガ、是ハ異例ト云ヘバ異例デ、

理論カラハ四段モ五段モアリマス、土木建

築ニ於キマシテハ、二段ト云フコトニ致シ

テ居リマス

○比佐委員 次ニ(ハ)ノ「其ノ他ノ工事ニ

シテ勅令ノ定ムル規模ノモノ」、是ハ餘程改

正法ニ依ッテ保護サレ、所謂改正法ニ依ル

恩惠ヲ蒙ル者ガ非常ニ多イト思フノデアリ

マス

○比佐委員 此事ニ付キマシテハ、後デ私

ハ一寸意見ヲ申上ゲタイト思ヒマサガ、一

萬圓ト決メテ根據如何、例ヘバ九千圓ナラ

災害ノアツタ場合ニモ扶助ハ受ケマセヌ、一

萬圓デナケレバト云フ、此一萬圓ト決メ

マス、ソレデ是モ其當時——私ハ扶助法ノ出來ル時ノ狀態ハ知リマセヌガ、此勅令ニ依ル施行令第二條ノ第一號「千人以上ノモノ」、第二號「一萬圓以上ノモノ」、第三號「三百人以上ノモノ」、第四號「使用労働者延人員三百人以上ノモノ」斯ウ云フ風ニ千人ト三百人、斯ウ云フ限界ヲ決メテ根據ヲ御伺致シタイト思フノデアリマス

○北岡政府委員 千人トカ一萬圓ト云フヤウナモノヲ採リマシタノハ、先程申シマシタヤウニ、大體保險ノ便宜、竝ニ新シイ法律ヲ施行シマスル場合デスカラ、餘リ細カイモノニ法規ノ適用ヲシマシテ、法規ノ違反ト稱シテ罰金ヲ科スルコトハ、如何ニモ心外ナ所デゴザイマスカラ、少シ安全ヲ見マシテ、相當ノ所デ切ルト云フ趣旨ニ基キマシテ、大體ノ「ラウンド・ナンバー」ヲ決メタニ過ギナイノデアリマス、唯茲ニ一萬圓ト千人ト云フモノハ、大體是ハ步調ヲ取ツテ居ル積リデゴザイマシテ、先ヅ一萬圓ノ建築工事ナラバ、労働者ノ延人員ガ千人位、是モ極ク大難把ナモノデゴザイマスケレドモ、ソナナ所デゴザイマス、普通ハ請負工事デアリマスカラ、皆請負金額ガ決マツテ居リマシテ、使用労働者ノ延人員ト云フモノハ、實際上ハサウハッキリ分リマセヌ

カラ、皆實際上ハ一萬圓ト云フ所デ行クノデアリマシテ、一萬圓以上ノモノハ保險ニ付ケル、ソレニ伴ッテ本法ノ適用ガアル、三號、四號ハ、私共ハ労働者保護ノ見地カラ、特ニ斯ウシタ危イ工事ニ付キマシテハ、小サイ工事ト云ッテ面倒ヲ厭ハズ、労働者ノ保護ヲ圖ラハウ、斯ウ云フヤウナ建前カラ、茲ニ特ニ標準ヲ置キマシテ、三百人ト云フコトニ致シタ次第デアリマス、孰レモ餘リ數學的ノ根據カラデナクシテ、常識的ナ「ラウンド・ナンバー」ヲ採ッタニ過ギナイノデアリマス

○比佐委員 「請負ニ依ルモノニシテ請負金額一萬圓以上ノモノ」、是ハ其請負工事全部ノ金額ガ一萬圓以上ノモノト思ヒマス、サウスルト労働者ニ支拂フベキ金額ガ一萬圓ト云フ意味デハナカラウト思ヒマス、サウスルト一萬圓ノ金額デモ、他ノ固定ノ爲ニ使フモノガ、例ヘバ八千圓、九千圓、労働者ニハ千圓トカ二千圓トカ云フ労働賃銀ニ過ギナイヤウナ内容ノ工事モアルト思ヒマス、斯ウ云フ場合ニ、僅ナモノニ依ッテ損害ヲ受ケタヤウナ場合ニモ、此規定ニ嵌マルノデアルカ、先刻カラ申ス通り、是ガ九千圓ノ工事デモ、工事ノ材料其他ニ依ッテ千圓、アト八千圓ハ皆労働賃銀ニ使フ工

事モアルト思フ、サウスルト使用人員ガ多ケレバ多イ程災害ガ生ジテ來ル、此内容ヲ見ズシテ、唯單ニ請負金額一萬圓ト決定シテ、労働者ノ人員ヲ基準ニ置カナイノハ、此内容ニ於テ大ナル缺陷アリト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ詳シク御説明ヲ願ヒマス

○北岡政府委員 此缺點ヲ補フ積リデ、使用労働者延人員ト云フモノヲ、一ツノ標準ニ置イテアルノデアリマスガ、實際上ハ、ドウモ請負ノ場合ニ於キマシテ、請負金額ハハッキリ決マツテ居リマスケレドモ、使用労働者延人員ト云フモノハ、ハッキリ決マラヌモノデアリマスカラ、實際ノ取扱ト致シマシテハ、金額ノ一萬圓ト云フモノデ適用、不適用ヲ決メテ居リマス、其場合ニ御話ノヤウニ、其内ノ八千圓ガ材料ニ掛ッテ、二千圓シカ労働者ニ使ハレヌト云フモノト、二千圓ガ材料ニ使ハレ、アト八千圓ガ労働者ニ使ハレルト云フモノトノ間ニハ、非常ナ規模ノ違ガアリマスガ、ドウモ請負金額ト云フモノヲ標準ニ致シマスル以上已ムヲ得ナイシ、只今申上ゲマシタヤウニ、使用労働者延人員モ標準ニ置イテ居リマスケレドモ、ソレハ豫メハッキリ決マラヌモノデアリマスカラ、豫メハッキリ決マツ

タモノニ依ッテ適用、不適用ヲハッキリ決メテヤラヌト、工事請負人ノ方ノ計畫ガゴザイマスカラ、成ベクハッキリシタ標準ヲ以テ適用ヲ決メタ方ガ宜イ、サウ云フ考ヲ以テ請負金額ニ致シタ次第デアリマス

○比佐委員 サウスルト第二條ノ三及四、此前ノ方ノ條項ニ該當シナケレバ、三百人以上ヲ使ッテモ、而モ工事總金額ガ一萬圓ニ充タナケレバ、絶對ニ扶助ハナイト云フコトニナリマスガ

○北岡政府委員 サウデハゴザイマセヌデ、一號、二號、三號、四號、孰レニ該當致シマシテモ、本法ノ適用ハゴザイマス、詰リ一萬圓以下デゴザイマシテモ、火藥、動力ト云ツタモノヲ使ヒマスル場合、若クハ軌道ヲ使ヒマスル場合ニ於キマシテハ、三百人以上ノ労働者ヲ使ヒマスナラバ、請負金額ガ一萬圓以下デモ、本法ノ適用ガアルト思ヒマス、斯ウ言ッタ特ニ危険ナ作業ニ付キマシテハ、小規模ノモノニ付キマシテモ本法ノ適用ヲ致シテ居ルノデアリマス

○比佐委員 政府委員ニハ今私ノ言ッタコトガハッキリ分ラナイヤウデスガ、此第三及第四ノ、茲ニ書イテアル此事項ニ該當シナイデ、而モ延人員ヲ三百人以上使ッテ場合ニ、其金額ガ一萬圓ニ充タナカッタ場合ニ

ハ、此法律ハ適用セラレナイヤウニ思ヒマスルガ、其點ヲ伺フタノデス

○北岡政府委員 左様デゴザイマス、三號、四號ニ該當シナイデ、又是ガ一萬圓以下デアリマスレバ、適用ガゴザイマセヌ

○比佐委員 是レ以上ニナルト議論ニナルヤウデアリマスガ、吾々ノ希望カラ言フト、勞働者ノ憐ムベキ者ニ向ッテ、當時的ニ雇ハレテナイ、臨時ノ工事ニ雇ハレテ居ッテ、其勞働者ガ偶、使ハレタ場合ニ、非常ナ怪我ヲスル、或ハ命マデ亡クスト云フヤウナ場合ニ、之ヲ救済シテヤルト云フコトガ、此勞働者災害扶助法ノ目的ト思フノデアリマス、ソレヲ成ベク此事業ノ關係ノ方ヲ擁護スルト云フヤウナ意味デモアリマスマイケレドモ、結果ニ於テハサウ云フ風ナ譯デ、注文主、事業者、ソレノ方ニ成ベク損害ヲ掛ケルヤウニシナイト云フヤウナ結果、反對ニ勞働者ハ殆ド救ハレル途ガ非常ニ縮小サレテ居ルヤウナ結果ニナリマス、是ニ於テ最近一萬圓以下ノ工事ヲ、千圓ハ物資ノ爲ニ使用サレテ、九千圓ハ勞働賃銀トシテヤル工事デ、是ハ三百人使フカ五百人使フカ分リマセヌ、サウ云フ風ナモノデモ、勞働者ガ死傷シタ、非常ナ災害ヲ受ケテモ救助ノ途ガ開ケテ居ラナイ、五千圓ノ工事デ

モ、千圓ダケハ物資ノ購入ニナッテ、四千圓ハ勞働者ニ使フト云フ工事モアリマス、サウ云フ風ナモノヲ救フテヤル途ヲ開クト云フコトガ、此法律ノ根本ト思フノデアリマスルガ、此點ニ付テ勞働賃銀ヲ基本トシテ、其事業ヲ觀察スルト云フコトニナレバ、是ガ非常ニ途ガ開ケルデアラウト思フノデアリマス、此點ニ付テドウ云フ考ヲ有ッテ居リマスカ、一ツ御答辯ヲ願ヒマス

○北岡政府委員 只今ノ御意見ニ對シマシテハ、理論上ハ洵ニ御尤デアリマスルケレドモ、我國ノ實際ニ於キマシテ、土木建築工事ニ於キマシテハ、勞銀ト云フモノガ分ラナイノデス、第一ノ勞銀ノ拂主、元請負人ガ下請負人ニ拂ヒマス場合ノ勞銀ヲ云フカ、下請ガ又其親方ニ拂フノヲ云フノカ、現實ニ勞働者ノ受ケル勞銀ヲ云フノカ、其範圍ガハッキリ分ラナイ、尙又一番最後ノ勞働者モ亦一種ノ請負デ、例ヘバ材料持チノ賃銀ヲ受ケルカ、例ヘバ左官デアリマスレバ、左官一日四圓ト云フ場合ニハ、左官ノ土代、ソレカラ大工ガ三圓ト云フ場合ニハ、釘代モ含ンデ居ル、ソレヲ全部賃銀ト見ルカドウカト云フコトガ問題ニナリマセウシ、サウ云フヤウナ勞働者ニ支拂ハレル賃銀ノ算定ハ非常ニ困難デアリマス、土木建

築業者ノ要求ハ、多少不公平デアラウガ、理窟ニ合ハヌデモ宜イ、實際ノ取扱ニ對シテ便宜ニシヨウト云フコトガ、一番強イ要求デアリマス、サウ云フ點カラ言ヒマスレバ、請負金ガハッキリ決ッタモノデアリマスカラ、ソレヲ標準ニシテ、適用ガアルカナイカト云フコトヲ決メテ貰ッタ方ガ宜イ、非常ニ便宜デアイト云フ一般當業者ノ要望デアリヤウニ聞イタノデスカラ、サウ云フ風ニシタノデアリマス、初メハ小サイ工事ニ適用スルト云フコトハ、御迷惑ダラウト云フヤウナ積リカラ、一萬圓以上トシタノデアリマスガ、其後此意見ガ案外評判ガ宜イヤウデゴザイマスカラ、或ハ又此當業者等ノ希望ヲモ參酌シマシテ、改正ヲシナケレバナラスコトニナルカト思ヒマス

○杉本國太郎君 私ハ委員外デスガ、一寸勞働者ノ保險扶助方法ニ付テ傍聽ニ參リマシタガ、只今ノ一萬圓ヲ基準トシテ、ソレ以上ノ請負工事ニ對シテ保險ノ扶助ヲ設定スルト云フ、斯ウ云フ方法ニ對シマシテハ、一ツノ例ヲ擧ゲテ見マス、其工事ノ性質ニ依リマシテ、一萬圓ノ總額、請負金額ニ對シテ、勞働者ガ受取ル所ノ支拂賃銀ノ豫算ト云フモノハ、一割カ二割ニシカ充當シナイデ、他ハ即チ必要ナソレニ對スル物品ノ購

入費ト云フモノガ八割、九割ヲ盛ッテ居ルコトモアル、又五千圓ノ請負金額ニ對シテ、殆ド土工費、八割、九割ガ勞働賃銀ニ支拂ヲ爲サナケレバナラス、又勞働賃銀ニ非ザルモノガ一割モ二割モアルト云フコトニナリマス、一萬圓ヲ以テ、總體ノ物資ヲ込メタ所ノ、請負賃銀ヲ含有シテ、サウシテ唯金ヲ一萬圓ト云フコトハ、只今委員カラ御質問モアリマシタ通り、總テ本問題ハ勞働者ニ對スル保險ノ制定デアリマスカラシテ、サウシマス、此點ト云フモノガ、唯請負金額ニ依ルト云フコトニナルト、其内容ニ至レバ、私ガ申上ゲタヤウニ様々ノ内容ニ立至ルノデアアルカラ、眞ニ勞働賃銀ノ支拂金額何千圓ト云フ工事ニ對シマシテ、此保險設定ノ規定ヲ御置キニナラスト云フト、非常ニ矛盾シタコトガ此ニ起リハセヌカト、斯様ニ本員ハ存ジテ居リマス、私共ハ既ニ日々三百人以上ノ勞働者ヲ使役シテ居リマス、監督官廳カラ健康保險ノ爲メ、又工場主ト致シマシテモ、別ニ勞働者ノ爲ニ金ヲ出シテ、産期其他ノ時期ニ對シマシテ、又怪我等ノ起リマシタ時ニ、政府ノ取締ラレテ居リマス所ノ外ノ方法ニモ、其他ニ對シマシテモ工場主ト職工トノ間ニ、色々ナ扶助救済ト云フヤウナ方法ヲ講ジ

テ、多年ノ經驗ヲ以テ、一人デナクシテ組合全體ノ者デ相談シマシテ、組合ノ規定内規ニ依ッテ左様ナモノヲ設立シテ、實行シテ來テ居リマスカラ、尙ホソレバカリデナク、他ノ組合ノ色々ナ例ヲ引イテ、サウシテ出來ルダケノ扶助方法ヲヤッテ居リマスケレドモ、今回ノ此案ニ對シマシテハ

——此法規ニ對シマシテハ、勞働賃銀ヲ基本トシナイデ、總請負金額ト云フコトニナリマスト云フト、實際ノ御精神ニ非常ナ矛盾ヲ來スヤウニ、考ヘテ見マスト云フト、サウ云フ缺陷ガ起ッテ來ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、今傍聽ノ席上カラ、一言發言ノ御許ヲ得テ、當局ノ御返事ヲ御伺致スノデアリマス

○北岡政府委員 只今ノ杉本サンノ御意見ハ、洵ニ御尤デゴザイマスルガ、役所トシマシテ法規ヲ施行シマスル以上ハ、ヤハリアヤフヤノ數字デハイケナイノデ、ハッキリシタ數字ヲ届ケテ貰ハナケレバナライ、サウシマスト云フト、請負業者ノ方ニ賃銀ヲドレダケ拂ッタカ届ケテ下サイト云フコトヲ、豫メ若ハ後ニナリマシテモ、届ケテ戴クコトハ非常ニ御迷惑ラシイノデス、是ハ豫メ漠然タルコトハ、初カラ豫算モゴザイマセウガ、現實ニ幾ラ、何十何圓何錢拂ッタカト云フ

コトヲ調べテ戴クコトハ、非常ニ御迷惑ラシイノデ、サウ云フ御迷惑ヲ掛ケルヨリハ、多少不合理デモ、ハッキリシタ數字ノ方ガ宜イ、是ダケノ積リデゴザイマス

○杉本國太郎君 先程來サウ云フ御答辯ガアリマシタヤウデスガ、而モ扶助規定ヲ定メ、サウシテソレニ對スル健康保持ノ爲ニ、政府ガ何ガシデモ助成金ヲ出ス方法ヲ實行シテ行クノニ對シテ、請負金額ノ一萬圓トカ五千圓ト云フノハ、洵ニハッキリシテ居ルモノデ疑ガナイ、ソレデ決メテ行クト云フコトナラ、ソレデモ宜シイガ、本法ヲ施行スル場合ニ、一萬圓ナリ、五千圓ナリ、十萬圓ナリノ請負金額ヲスル時ニ、若シ購入費ノ内譯及勞働賃銀ノ支拂ト云フモノガ、カッチリシテ居ラナケレバナライノデ、又請負ヤル者ハ、大綱ミデ幾ラト云フコトハ決シテ致シマセヌ、又個人ノ請負デナクシテ、其會社ガ直營事業ニ致シマシテモ、又個人ガ直營事業ニ致シマス所ノ五千圓ノ仕事ナリ、一萬圓ノ仕事ナリニシマシテモ、出鱈目ニ最初カラ掛ルモノデナク、大綱ミニ總體ヲ込メテ一萬圓ヤ五千圓ト云フコトデナク、設計豫算ト云フモノヲ組ンデ、サウシテ出來ルダケ實行上ト違ハナイヤウニ、豫算ノ内譯、設計ト云フモノガチャンスト出來テ、

其上ニヤルノデアリマス、東京市ノ防火壁地帯ニ對シテ補助金ヲ得ルト云フヤウナ場合デモ、チャンスト設計圖面ト云フモノヲ添ヘテ、ソレニ内譯ノ經費ト云フモノヲ明ニシテ出スノデアリマシテ、ソコデ初メテソレヲ認メテ、サウシテ防火壁地帯ノ補助金ガ認メラレテ來ルト云フヤウナモノデアッテ、而モ法規ニ依ッテ致サナクテハナラナイモノニ對シテ、金高デ決メナイト云フト、其内譯ガ監督上中々容易デナイト云フヤウナコトハ、本當ニ此法案ノ勞働者ニ對スル施行上ノ問題ニ、マダ御研究ガ能ク積ンデ居ラナイト、斯様ニ考ヘテモ宜シカラウト思フノデス、支拂フ賃銀ノ總額ニ於テ單位ヲ御決メニナリ、ソコデ制限ヲスルト云フコトニナレバ、本當ニ勞働賃銀ガ——

延人員一萬人、一圓ノ手間ニシテ一萬圓支拂ヒ、或ハ五千圓トカ二千圓トカ云フ賃銀ヲ支拂フ者ニ對シテ、一人ノ職工ノ手間、雜夫ノ手間、或ハ大工トカ左官トカ云フモノガ、大抵其處ニ於テ決ッテ居リマスカラ、其賃銀支拂ノ總額ト云フモノヲ基準トシテ、工事費ガ幾ラ掛ラウトモ、ソレハ物品購入其他ノ費用ニ對シテ、金高ノ嵩ムモノハ別問題トシテ、勞働者ノ爲ニ御設定ニナル所ノ保險ノ方法ナラバ、勞働者ノ賃銀支拂ノ其

金額ニ基準ヲ取ルヤウニ御修正ニナッタ方ガ宜シイト思ヒマスノデ、此上尙ホ御答辯ヲ聽クノ必要ハアリマセヌカラ、私ハ傍聽ヲシタ所ニ於キマシテ、自分ガ何百人ト云フ職工ヲ永イ間使ッテ居リ、今日モ繼續シテ居リマス、ソレ等ノ方法ニ對シテハ、政府ノ色々變ッタ所ノ職工保護ノ監督ヲ得テ、サウシテヤッテ來テ居リマス、其問題ニ對シテモ修正改良等ヲ種々促シテ居リマス、其見地カラ只今此一點ダケニ對シマシテ、質疑御許ヲ願ッテ申上ゲル次第デアリマス

○比佐委員 今度ハ第四條ノコトニ付テ御伺致シマス、是ハ專ラ同一ノ注文者ノ注文ニ依リ爲サル所ノ、例ヘバ船會社ガ船カラ貨物ノ積卸ヲスル、其場合ニ或ル請負人ニ請負ハセテヤラセル、其請負人ガ又下ノ者ニ請負ハセル、是ハ非常ニ重複シタコトガ事實アルト思ヒマスルガ、現状ハドウナッテ居リマスカ、其點ニ付テ御伺致シマス

○北岡政府委員 此四條ノ方ニ、現行法ニゴザイマス專ラ同一ノ注文主ノ注文ニ係ル事業ト申シマスノハ、例ヘテ申シマスト云フト、倉庫トカ工場ト云フヤウナ所ニ於キマシテ、其倉庫ナリ工場ナリノ荷物ノ積卸ヲ、一ツノ請負人ニ頼ンデ置ク場合デゴザイマシテ、其場合ニ勞働者ヲ直接使ッテ荷

物ノ上ゲ下シヲシマス者デゴザイマスガ、

其請負人ハ、其工場ニ於テ若ハ其倉庫ニ於

テモ、一ツノ仕事ヲヤッテ居ルノデゴザイ

マスカラ、本法ニ於キマシテハ事業主デア

リ、勞働者ヲ使用シテ居ル者デゴザイマス

ケレドモ、社會的、經濟的ニハ其工場ナリ倉

庫ニ隸屬スル者デゴザイマスカラ、隨テ工場

主若クハ倉庫業者ニ第二次ノ責任ヲ負ハセ

テ居ルノデアリマス、是ハ現行法ノ場合、今

度改正シマスノハ、主トシテ沖仲仕ノ場合

デゴザイマシテ、是ハ現在ノ一般ノ慣習ト

シマシテハ、船會社ガ「ステベド」ト申シ

テ居リマスガ、日本デハ主ニ倉庫業者、廻

送業者等ガヤッテ居リマスガ、サウ云ツタヤ

ウナ荷物ノ積卸ヲスル者ニ荷物ノ積卸ヲヤ

ラセマシテ、其者ガ更ニ人夫ノ親方ニ任セ

ルノデアリマシテ、三段ニナッテ居ルノガ

大體現在ノ慣例デゴザイマス、其場合ニ先

程申シマシタ倉庫ヤ工場ノヤウニ、純粹ノ

專屬デハゴザイマセヌケレドモ、大體ニ於

テヤハリ社會上隸屬的ノ關係ガゴザイマス

シ、又色々弊害等モゴザイマスノデ、其船

會社若クハ「ステベド」ニ第二次的ノ責任

ヲ負ハセルヤウニ致シタイ、斯ウ云フヤウ

ニヤル次第デアリマス

○比佐委員 此「同一ノ注文者ノ注文ニ依

リ」ト云フコトヲ、モウ少シハッキリ御致シ

テ置キタイノデアリマスガ、例ヘバ荷物ノ

積卸、運搬、斯ウ云フ風ナ請負ヲシテ居ル

者ガ、例ヘバ或ル特定ノ注文者バカリデナ

ク、色々注文者カラ注文ニ依ッテ其事業

ヲシテ居ル場合ニ、例ヘバ船會社トカ、或

ハ廻送問屋邊リノ品物バカリ受取ル、常ニ

ソレニ從事シテ居ルナラバ宜シイノデアリ

マスケレドモ、不特定ノ注文者ノ注文ヲ受

ケルヤウナコトヲシテ居ル者モ澤山アルト

思ヒマス、サウ云フ風ナコトニ付テハ、ド

ウ云フ風ナ御意見ヲ有ッテ居ラレマスカ

○北岡政府委員 サウ云フ場合ニ於キマシ

テハ、同一ノ注文者ノ注文ニ依ルモノデハ

ゴザイマセヌ、同一ノ注文者ノ注文ニ依ル

ト云フノハ、今申シマシタヤウニ、工場ノ

專屬ノ人夫請負人トカ、若クハ倉庫ノ專屬

ノ人夫請負人トカ、石切場ノ專屬ノ人夫請

負人、事實上其工場主若ハ倉庫業者ニ隸屬

シテ、其下デ働イテ居ル、謂ハ「下請」ヤ

ウナ恰好ニナッテ居ルモノデアリマス、サ

ウデハナクテ、普通ノ沖仲仕ノヤウナ場

合ニ、例ヘバ郵船會社カラモ商船會社

カラモ注文ヲ受ケテ荷物ノ上ゲ下シヲスル

ト云フ場合ニ於キマシテハ、同一ノ注文主

ノ注文ト云フコトニハ當嵌ラスノデアリト

ス

○比佐委員 私ガ其點ヲハッキリ聽キタイ

ト言フノハ、斯ウ云フコトデアリマス、例

ヘバ今ノ沖仲仕ノ場合ニ於テモ、郵船會社

ノ方ノ品物モ積卸、運搬ヲヤッテ居ル、東

洋汽船ノ方ノモ、大阪商船ノ方ノモ常ニヤ

テ居ルト云フヤウナ場合ニ、同一ノ注文者

ト云フ條文ニ該當シナイコトニナリマスル

カラ、サウ云フ風ノ場合ノ災害ニ付テハ、

謂ハ「今ノ注文者ノ方ニハ行カナイト云フ

御意見デアリマスカ

○北岡政府委員 同一ノ注文者ニ依ル場合

ニ於キマシテハ、現行法ニ於キマシテモ、

此注文者ガ第二次的ノ責任ヲ負ヒマスノ

デ、今度ノ改正案ニ於キマシテハ、同一ノ

注文者デハナクトモ、沖仲仕ノ事業ノ場合

ニ於キマシテハ、注文者ガ第二次的ノ責任

ヲ負フト云フコトニ致シタ譯デアリマス、

即チ只今例ニ舉ゲラレマシタ沖仲仕ガ、郵

船カラモ、商船カラモ、東洋汽船カラモ注文

ヲ受ケテ、貨物ノ積卸ヲシマス場合ニ於キ

マシテハ、現行法デハ郵船ヤ商船ハ責任ハ

ナイノデアリマスルガ、今度ノ改正案ニ依

リマスルト云フト、郵船モ商船モ第二次的

ノ責任ヲ負フトコトニナルノデアリマス、ソ

レガ今度ノ改正案ノ一ツノ骨子デアリマ

ス

○比佐委員 ソレカラ炭坑ノ場合ニ付テ一

寸承リタイト思ヒマス、炭坑ノ鑛業者、

即チ鑛區主ガアリマスルガ、直接採炭事業

ハ鑛區主ガヤラナイデ、他ノ第三者ヲシテ

採炭事業ヲヤラシテ居ルト云フノハ、是ハ

日本全國ヲ通ジテ炭坑事業ニ於テハ非常ニ

多イノデアリマス、世間デ之ヲ稱シテ金先

掘ト稱シテ居リマス、其場合ニ勞働者ガ負

傷ヲシタ、或ハ生命ヲ亡クシタト云フヤウ

ナ場合ニ、責任ノ歸著點ガ何處ニ行カカ、

第一其點ヲ一ツ伺ヒマス

○北岡政府委員 鑛業法ニ於キマシテハ、

鑛區上ノサウ云フヤウナ勞働者ニ對スル責

任ハ、總テ鑛業權者ニ責任ヲ負ハシテ居リ

マス、唯併ナガラ鑛業權者ガ自分デ鑛業ノ

管理ヲシナイデ、之ヲ代理人ニ任セルト云

フ制度ヲ設ケマスレバ、ソレハ鑛業代理人

ト稱シマシテ、ソレガ代ッテ責任ヲ負フコ

トニナッテ居リマス、是ハ普通直營ノ場合デ

ゴザイマスト云フト本當ノ使用人デゴザイ

マスルガ、今御話ノ金先、掘ノ場合デゴザ

イマスルト、多クノ場合ニ於キマシテハ、

金先人ヲ鑛業權者ノ代理人、詰リ鑛業代理

人トシマシテ、鑛業權者ニ代ルベキ所ノ手

續上ノ責任ヲ負ハシテ居ルノデアリマス、

隨ヒマシテ扶助ノ場合ニ、怪我ヲシマシテ扶助シナカッタラバ、鑛業代理人トシマシテ、多クノ場合ニ金先人ガ罰セラレマスルガ、併ナガラ是ガ民事訴訟法ノ問題ニナリマスルナラバ、鑛業權者ガ之ヲ支拂フ義務ガアル譯デゴザイマス

○比佐委員 今ノ所ヲモウ一度ハッキリ承ッテ置キマスガ、金先掘ノ場合ニハ、金先者ガ事業主ト思フノデアリマス、サウスルト是ハ勿論鑛業法ニ依ッテ責任ガアルト思フノデアリマス、サウスルト鑛區ノ持主、鑛業權者ハ、ヤハリ第二次ノ責任ガソレニ及ンデモ宜サ、ウニ思フノデアリマスガ、其解釋ハドウ云フ風ニシテ居リマスカ

○北岡政府委員 鑛業法ガ勞働者災害扶助法ノヤウナ建前デアレバ、今仰シヤッタヤウナコトニナルカト思ヒマスルガ、鑛業法ハサウ云フ建前デハゴザイマセヌデ、直接ノ事業主ト云フモノニ責任ヲ負ハサナイデ、誰ガ使ッテ居ラウガ、中間ニ請負人ガアラウガナカラウガ、兎ニ角鑛業權者ト云フモノガ扶助ノ責任者ニナッテ居ルノデアリマス、社會的ニハ金先者ガ事業主デゴザイマスケレドモ、鑛業法デハ一應サウ云フモノハ認めナイ、認めナイデ、唯鑛區ノ持主ニ責任ヲ負ハシマシテ、唯鑛區ノ持主ノ代

理人ト致シマシテ、鑛業法上ノ手續ヲ任セ、ルコトヲ認めテ居リマスルガ、一般ノ慣例トシマシテハ、金先人ヲ鑛業代理人トシマシテ、鑛業法上ノ責任ヲ負ハシテ居ルノデアリマス、是ハ實際ノ經濟上ノ實情トハ、少シ法律ノ建前ガ違ッテ居リマスルケレドモ、併シ代理人ト云フ制度ガアリマスル爲ニ、サウ實際ト離レナイデ運用ヲ致シテ居リマス

○比佐委員 今ノ問題デ、大體鑛業權者ト云フ鑛區ノ名義人ハ、大概東京アタリニ居ル金持デアリマス、金持ガ東京ニ居ッテ、サウシテ鑛區ヲ持ッテ居ル、其人ニ其鑛區ノ一部分ヲ借りテ、石炭ノ採掘事業ヲスルノガ例ノ金先掘デアリマス、今唯慣例デバカリサウ云フ風ニスルト言フガ、斯ウ云フ法律ヲ拵ヘル場合ニ、此責任ノ歸著點ヲ明ニシテ置カナケレバ、例ヘバ自分ノ金先人ガ使ッテ居ル鑛夫ニ、ドンナ、大勢ノ者ニ怪我ヲサセテモ、多クノ者ヲ殺シテモ、此金先人ガ財政ガ宜シケレバ宜シイガ、隨分失敗シテ逃ゲテシマフ者モ澤山アリマス、サウスルト澤山ノ鑛夫、勞働者ヲ死傷セシメ、或ハ其生命ヲ奪ッテモ、結局本當ノ鑛業權者ガ責任ヲ負ハナケレバ、勞働者ハ救済サレマセヌ、唯習慣上サウナッテ居ルトカ、サウ

云フ風ノモノデハ、所謂金先人ハ其責任ヲ回避スルコトガ出來ルト云フ結果ニナリマスルガ、其點ハ中々重大ナ問題デアリマスルカラ、一ツハッキリ御答ヲ願ヒマス

○北岡政府委員 鑛山ノ問題ハ、勞働者災害扶助法ノ適用ハゴザイマセヌデ、鑛業法ノ適用デゴザイマス、其鑛業法ニ依リマスト云フト、只今申シマシタヤウニ、勞働者ニ對スル扶助ノ責任ハ、鑛業法ニ依ッテ、即チ鑛區ノ名義人ガ其責任ヲ負ウテ居ルノデゴザイマス、隨テドンナ事故ガ起リマシテモ、ソレニ對シマシテ金先人ガ責任ヲ負ヘナイ場合ニ於キマシテハ、何處マデモ鑛區ノ名義人ガ責任ヲ負ハナケレバナラス、是ハ勞働者災害扶助法ニ依ル所ノ第二次責任者ヨリハ、ズット重イ責任ヲ負ウテ居ルノデアリマスルガ、併ナガラ今御話ノヤウニ、鑛業權者ト云フモノハ、他ノ土地ニ居ル金持デ、其者ニ一々——色々ノ手續ヲシナカッタカラト云ウテ、之ニ行政法上ノ罰金ヲ科スルコトハ到底出來マセヌカラ、ソコデ現場ノ鑛區ノ鑛山長——直營ノ場合ニ於テハ鑛山長、金先掘ニ於テハ金先人——普通鑛業代理人ト云フ言葉ヲ用ヒテ居ルノデアリマスガ、若シ此鑛業代理人ヲ置イテ居リマセヌナラバ——此鑛業代理人ヲ置クカ置カヌカ

ト云フコトハ、鑛區主ノ自由デスカラ、若シ鑛業代理人ニシナカッタ場合ニ於テハ、鑛業權者ガ——鑛區ノ名義人ガ民法上ノ扶助ヲ拂フ責任ノ外ニ、鑛夫ノ扶助規則ト云フ鑛業法上ノ制裁ヲ受ケナケレバナラス、併シ金先人ヲ鑛業代理人ニシテ居リマスルナラバ、此鑛業法上ノ罰金ハ金先人ガ負フ、ソレカラ金ヲ實際拂フ所ノ民法上ノ責任ハ鑛業權者ガ負フ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○比佐委員 私ハモット色々ノ問題ニ付テ御伺シタイコトガ澤山アリマスルガ、他ノ委員諸君モ御質問ナサルサウデアリマスルカラ、私ハ今一點ダケ伺ヒマシテ、餘ハ質問ヲ保留シテ置キマス、此改正法ニ依ッテ扶助規定ニ依ル權利ノ讓渡ハ之ヲ禁止シテ居リマス、勞働者ヲ保護スル方カラ言ウト、此權利ノ讓渡ヲ禁止スルト云フコトハ、勞働者ノ保護ニハナラヌト思フノデアリマス、讓渡權マデ認めタ方ガ、勞働者ノ救済ノ爲ニ宜シイト思フノデアリマスガ、此讓渡ヲ禁止シタ精神ハ何處ニアルカラ一ツ御同致シマス

○北岡政府委員 斯ウ云フ權利ヲ讓渡シマスト云フト、所謂三百代言ノヤウナ者ガ之ヲ直グ買取ッテ、サウシテ其權利ヲ執行ス

ル、勞働者ハ其權利ヲ執行スル煩ニ堪ヘナイカラ、是ハ安ク賣ッテシマフト云フヤウナ弊害ガアルト思ヒマスカラ、此讓渡ヲ禁ジタ譯デアリマシテ、是ハ現行扶助法ノ給付トカ、其他勞働者ニ關シマスル少額ノ債權ニ付キマシテハ、斯ウ云フヤウナ保護ヲシテアルノガ、一般ノ法制上ノ建前ト存ジテ居リマス

○比佐委員 今災害ヲ受ケタ其災害ニ對スル扶助ノ請求權ヲ、三百代言ノヤウナ者ニト云フ、惡イ者ニ引掛ッタ場合ヲ豫想シテ、斯ウ云フモノヲ決メルト云フコトハ、少シ偏狹デハナイカト思フノデアリマス、是ガ當然ノ權利トスルナラバ、此權利ノ行使ヲシテ、其勞働者ヲ救ッテヤルト云フコトガ、此災害扶助法ノ目的ト思フノデアリマス、ソレガ偶、或ハ三百代言ニ引掛ッタ云フヤウナコトヲ理由トシテ、讓渡ヲ禁止スルト云フノハ、此勞働者ノ權利ヲ非常ニ制限スルト云フ理由ニハナラナイト思フノデアリマス、正當ノ代理人ヲ以テ、或ハ正當ノ第三者ヲ以テ、自分ノ權利ヲ主張スルノハ、是ハ當然ト思フノデアリマス、只今三百代言ト云フヤウナ、惡イ者ニ引掛ッタ云フ特別ナ場合ヲ引合ニ出シテ、此立案ヲ擁護スルト云フコトハ、間違ッタ答辯ト思

ヒマスガ、之ニ付テドウ云フ風ナ御考デアリマセウカ

○北岡政府委員 實際ノ場合ニ於キマシテハ、先程申シマシタヤウニ、此扶助ハ裁判上ノ争ニナルト云フコトハ稀有ナコトデアリマシテ、寧ロ文句ヲ言ッテ拂ハヌ場合ニ於キマシテハ、官憲ガ事業主ナリヲ喚付ケマシテ拂ハセル、拂ハナイ場合ニハ、刑法上ノ罰金ヲ科スルト云フヤウナコトニ致シマシテ居リマスルカラ、餘リサウ云フ弊害ハアリマセヌケレドモ、併シ弊害ガアルト致シマスレバ、矢張之ヲ餘リ善クナイ者ニ賣ッテシマフト云フコトガ弊害グラウト思ヒマス、若シサウデナケレハ、代理人トシマシテ權利ヲ執行シテ宜イ譯デアリマスルカラ、ソレ以外ニ此讓渡ヲ禁ジタ爲ニ、勞働者保護上非常ニ困ルト云フ場合ハ餘リ考ヘラレナイト思ヒマス

○比佐委員 質問ハ保留致シマシテ、私ハ一先ヅ是デ止メマス

○森田委員長 伊禮君、アナタノ御質問ハ長イデスカ

○伊禮委員 イヤ簡單デス

○森田委員長 ソレデハ今拓務省ガ來テ居ラレマスカラ……

○伊禮委員 先刻申上ゲマシタ通り、此勞

働者災害扶助法竝ニ工場法、鑛業法、是等ハ植民地ニハ施行サレテ居ナイト考ヘテ居リマス、殊ニ私ハ臺灣トカ關東州ハ能ク承知致シテ居リマセヌガ、少クトモ南洋諸島ニハマダ施行サレテ居ラヌト考ヘテ居リマスガ、南洋方面ニモ此法律ヲ施行スル必要ハ十分アルモノト私ハ認メテ居リマス、私ガ觀察ニ參リマシタ場合ニ、或ハ工場ノ設備ノ惡カッタ爲ニ手ヲ怪我シタトカ、或ハ足ヲ切斷サレタトカ、其他相當ナ災害ヲ受ケタ者ガ居リマシタケレドモ、新法ガ施行サレテ居ナイ爲ニ、泣寝入りヲシテ居ル者ガ澤山居リマス、殊ニサウ云フ法律ガナクテモ、民事ノ損害賠償ニ依ッテ訴ヘル方法モアリマスルケレドモ、南洋ニハ辯護士モ居リマセヌシ、色々ナ不便ガアッデ、特ニ内地ヨリモ却テ植民地ニ於テ、斯ウ云フ法律ヲ施行スル必要ガアルモノト、斯様ニ考ヘマスガ、政府當局ニ於テハ、植民地ニ本法ヲ施行サレル御意思ガアルカナイカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小河政府委員 只今御尋ノ伊禮議員ノ御質問ニ對シマシテ御答辯ヲ申上ゲマス、只今御質問ノ趣旨ハ至極御尤ダト思フノデアリマス、雇傭者ト被傭者トノ關係、斯ノ如キモノヲ成ベク法制ヲ以テ合理的ニ規定ス

ルト云フコトハ、最モ必要ナコトデアラウト思フノデアリマス、而モ今御示シノ如ク南洋、樺太、臺灣、朝鮮、斯ウ云フ地ニ於テモ、其必要ヲ政府ハ認メテ居ルノデアリマス、併ナガラ只今伊禮議員ノ御質問ノ中ニモアリマシタヤウニ、スル外地ニ於キマシテハ、未ダ工場法ノ施行モ見テ居ラナイヤウナ次第デアリマシテ、是ハ新附ノ民、ソレカラ其新附ノ民ノ居リマスル所ノ文化、人文ノ程度ト云フヤウナモノニ依リマシテ、適當ニ安排ヲシテ決メナケレバナナイ問題ガ多アルノデアリマシテ、政府ニ於テハ是ガ研究ニ専ラ力ヲ盡シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、適當ナル時機ガ參リマシタナラバ、多少ノ條項ノ異ナル點ハアルト思フノデアリマスガ、御示シノ如ク外地ニモ此精神ノ法規ヲ適要シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、唯個々ノ業務ニ付テノ關係ニ付キマシテハ、或ハ鑛業勞働者ノ關係ニ付キマシテハ、樺太ニ於キマシテハ、昭和四年ノ樺太廳令第三十八號ヲ以テマシテ、鑛夫雇傭勞役扶助規則ト云フモノヲ以テマシテ、又臺灣ニ於キマシテハ、臺灣鑛業規則竝ニ同規則施行細則ト云フモノニ依リマシテ、鑛山勞働ニ從事シテ居リマス者ノ不慮ノ災害ニ對シマシテハ、ソレノ

ノ法令ヲ以テ是ガ扶助ノ方法ヲ規定致シテ居ルノデアリマシテ、其他ノ地域ニ於キマシテ、法令ノナイ所ニ於キマシテハ、専ラ官憲ノ斡旋ニ依リマシテ、本法ノ趣旨ニ副ウガ如キ解決ヲ事實上ニ見ルヤウニ努力致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、併ナガラ當局ト致シマシテハ、成べく速ニ斯ル法規モ各外地ニ適用ヲ見ルニ致ランコトヲ努メテ居ルヤウナ次第デアリマス

○伊禮委員 政府委員ガ人文ノ程度云々ト云フコトヲ申サレマシタガ、私ハ寧ロ此人文ノ程度ガ低イ、隨テ自ラ自分ノ災害ヲ工場主ニ懇ヘルト云フ能力ノ無イ者コソ、却テ此法律ヲ適用シテ、而シテソレニ依ッテ救済スルト云フコトガ、最モ適當ダト考ヘマス、尙ホ殊ニ南洋ノ如キハ、寧ロ此法規ノ適用ニ依ッテ保護セラル、者ハ全部日本人デアリマシテ、彼處ノ島民ナル者ハ工場等ニハ從事シテ居リマセヌ、殆ド全部——二萬人全部ガアノ工場ニ從事シテ居ル譯デアリマス、全部内地人デアリマス、其點カラ致シマシテモ、速ニ政府ニ於テハ本法ヲ施行セラレンコトヲ切ニ希望シテ、質問ハ打切りマス

○森田委員長 松尾君

○松尾委員 拓務省ノ政府委員ガオ出デノ

中ニ、一寸先ニ聽キタイコトガアリマスガ、今伊禮君ノ御質問デ臺灣、朝鮮等ノ外地ハ、別ニ廳令ナリ其他ノ法令デ御決メニナッテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、私樺太ハ鑛業法ハ適用ニナッテ居ルヤウニ記憶シテ居リマシタガ、マダ今ノ御話デハ、鑛業法モ適用ニナッテ居ラナイヤウデ、今初メテ聞キマシタ、臺灣、朝鮮等ハ法律ニ代ル規定ヲ設クルコトガ出來ルヤウニハ無論ナッテ居リマスガ、樺太廳令ハ法律ダケノ效力ガナイヤウニ考ヘラレマスガ、之ニ付キマシテ、今樺太廳令ニ依ッテ適當ノ保護ノ途ヲ講ジテ居ラレト云フ御話デスガ、ソレデ大ナル法律的ノ支障ガナイカドウカト云フコトヲ、念ノ爲ニ御聽キシタイト思ヒマス

○小河政府委員 松尾委員ノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、只今申上ゲマシタノハ、御質問ノ通りニ、樺太ニ於ケル廳令ガ法律ノ效力ヲ有ッテ居ルト云フ趣旨デハナイノデアリマス、鑛業法ハ樺太ハ勅令ヲ以テ之ヲ施行シテ居リマス、併ナガラ只今申上ゲマシタ規則ハ、鑛業法自身デハナクシテ、鑛夫雇傭勞役扶助規則ト云フ樺太廳令デゴザイマス、是デ災害其他ノ場合ノ扶助料其他ノ給與、サウ云フ關係ニ付テノ規定ヲ致シテ居

ルノデアリマス

○松尾委員 今小河政府委員ノ御答ノ其樺太廳令ナルモノガ、法律ト同ジ效力ガアッテ、總テ勞働者ノ保護ノ上ニ於テ、内地府縣ニ於ケル法律ト同ジ效力ガアルノデアリマスカドウカ、モウ一度伺ヒタイト思ヒマス

○小河政府委員 御答致シマス、今申上ゲマシタ鑛夫雇傭勞役扶助規則ト申シマスノハ、扶助ノ關係ニ付テ、或ハ身體ノ障害ニナルガ如キ怪我ヲ致シマシタ場合トカ、或ハ疾病ヲ致シマシタ場合等ニ付テ、或ハ終身自用ヲ辨ズルコト能ハザル者ニハ、何日分ノ日給トカ、終身勞役ニ從事スルコトノ出來ナイヤウニナッタ者ニハ、何日間ノ日給トカ云フヤウニ、ソレ／＼サウ云フ場合ノ給與規定ヲ置イテ居リマシテ、是ハ法律ノ效力トハ、其罰則其他ノ效果ヲ別ニシテ居リマスケレドモ、是レ自身トシテ強制力ハ有ッテ居ル法規デゴザイマス

○松尾委員 今回勞働者ノ災害扶助法ヲ改正セラレマシテ、其第四條ニ於テ所謂扶助責任者ノ範圍ヲ擴大セラレマシタガ、是ハ此前ノ委員會ニドナタカノ御質問ニ依リマスト、保證責任ト連帶責任ノ中間ヲ行ク、稀ニアル法律ノヤウニ聞キマシタガ、實際

勞働者ノ保護ノ爲ニモ、又事業主ノ立場カラ考ヘマシテモ、連帶責任ニハッキリ定メルト云フコトガ、最モ宜イノデハナイカト考ヘラレマスガ、特ニ斯様ニ定メラレル、何カモウ少シハッキリシタ根據ヲ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○北岡政府委員 此點ニ付キマシテハ、先程社會局長官カラモ御話ガゴザイマシタヤウニ、ドウモ連帶ト致シマシテ、兩者トモ平等ノ責任ヲ負ウタノデハ、法律上ハ非常ニ確保サレル譯デスガ、實際上ハ誰ニ先ヅ請求シテ宜イノカ分リマセヌノデ、實際上困ル、矢張物ニハ順序ヲ決メテ、先ヅ之ニ行ク、是ガイケナカッタ場合ニハ之ニ行クト云フヤウニ致シタ方が、扶助ノ責任ガ履行シ易イト考ヘタノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、此法律ニ於キマシテハ、兩方トモ責任ヲ有タセルノデ、一方ガ先ニ請求セラレテ、一方ガ二番目ニ請求サレル、是ダケノモノデゴザイマスケレドモ、實際上ニ於キマシテハ、矢張是ハドチラカ一人ガ責任ヲ負ウテ居リマスノデ、他ノ者ガ拂ッタ場合ニ於キマシテハ、其者ガ求償權ヲ有ッテ居ルト云フコトニナルノダラウト思ヒマス、其兩者ノ内部關係ハ、是ハ實際上當事者ノ契約デ自由ニ決メラレルノデゴザイマスケレ

ドモ、矢張是ハ成ベクハ法律上大體ノ建前ヲハッキリシテ置イタ方ガ紛更ヲ生ジナクテ宜イガラウト思ヒマス、サウシマシテ實際ノ慣例ヲ見マス、矢張直接勞働者ヲ使ッテ居ル者ガ民法上ノ扶助ノ責任ヲ負フ、消極的ノ責任ヲ負フ、サウシテソレヲ注文者ガ拂ツトキニハ、注文者ニ對シテ償ハナケレバナラヌト云フ、大體ノ慣例ニナリマスカラ、其事ヲ矢張此法律ニ於テモ決メマシテ、先ヅ第一ニ使ッテ居ル者ガ責任ヲ負フ、其者ガ拂ハヌ場合ニ、初メテ上級ノ請負人若ハ注文者ガ責任ヲ負フト云フコトニ致ス、即チ對内關係ハ兩者ノ契約ニ於テ決メルノデゴザイマスケレドモ、其事ヲ此法律ニ於テ矢張大體方針ダケヲ示シタヤウナ趣旨モ含ンデ居ルノデアリマス

リ多クナイモノデアアルカドウカ、其點ニ付テ伺ヒタイ

○北岡政府委員 先程モ答ヘマシタヤウニ、怪我ヲシマシテ、ソレヲ二年間モ訴ヘナイデ放ッテ置クト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、無論多クノ場合本當ノ怪我デナイト見テ宜イガラウ、隨テ二年ト云フヤウナ短期時効ヲ決メタ方ガ、權利關係ヲ紛更セシメナイデ宜イガラウト云フ考カラ、二年ト決メタ次第デアリマス、現行法ニ於キマシテハ、斯ウ云フ規定ガアリマセヌカラ、一般ノ民法ノ規定ニ依リマシテ時効ハ十年デゴザイマス、現行法ノ下ニ於キマシテ、稀ニ三年モ四年モ前ノ怪我、而モ其間ハ請求シナイヤウナ怪我ヲ持ッテ來ル者ガゴザイマス、サウ云フ場合ニ醫學上ト申シマシテモ、三年モ前ニ大體其怪我ガアツカドウカ、ソレガ業務上ノ怪我デアアルカドウカト云フコトハ、醫學上分ルコトデハナイノデアリマス、實際矢張其當時ノ證人トカ、係員トカ、同僚トカ云フ者ノ意見ニ聽カナケレバナラヌノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ大抵人情の解決デ、マシテ、二年デハ餘リ短カ過ぎテ、時効ノ完成ガ早過ギルデハナイカト云フヤウニモ考ヘラレマスガ、サウ云フヤウナ事例ハ餘

ス場合ニ於キマシテハ、法律上ノ金ヲヤリマスシ、ドウモ業務上ノ怪我デハナサ、ウニ思ハレル、一旦癒ツタモノガ、偶、何カ他ノコトデ再發シタモノデ、業務上ノ怪我トシテ扶助ノ責任ガナサ、ウニ思ハレマシタ場合ニ於キマシテハ涙金位デ、人情の解決ヲ圖ルト云フヤウナコトニ現在ハ致シテ居リマス

ゴザイマセウカラ、怪我ヲシテ一旦癒リマシテ、サウシテ又二年經ッテ再發シマシタ場合ニ於キマシテハ、解雇後デナク、雇傭繼續中デゴザイマスナラバ、此時効ノ規定ノ適用ハナイト思ヒマス

○松尾委員 大體只今ノ御答デ立案ノ趣旨ガ分リマシタ、其次ニ今回各法律ノ扶助請求權ノ時効ヲ短縮セラレマシタガ、實際被害者ガ二年前ニ於ケル業務上ノ傷痕或ハ疾病ニ依ッテ、又ソレガ再發シタト云フ事ガ、醫學上ハッキリ分ルヤウナ例モアラウカト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ意味カラ言ヒマシテ、二年デハ餘リ短カ過ぎテ、時効ノ完成ガ早過ギルデハナイカト云フヤウニモ考ヘラレマスガ、サウ云フヤウナ事例ハ餘

○松尾委員 モウ一ツ之ニ關聯シテ御聽キシタイノハ、業務上ノ傷痕ヲ受ケマシテ、事業主ガ療養ノ給付ヲ爲シマシテ、其場合ニハ完全ニ元ノ通り癒ツタト思ッテモ、ソレガ完全デナクシテ、二年以内ニ又再發トカ、或ハ他ニ何カ身體上ニ故障ガ起ツトコトガ、ハッキリ學理的ニ分ツヤウナ場合ニハドウナリマスカ、是モ參考マデニ御聽キシテ置キマス

○北岡政府委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 ソレカラモウ一ツ御聽キシテ置キタイノハ、勞働者災害扶助法ノ施行令ニアリマス、先刻モ御話ノアリマシタ第二條ノ第一項ノ第一號、第二號ニ、千人以上ノモノ、一萬圓以上ノモノト云フ規定ガアリマスカ、此扶助法ノ第一條第一項第二號「ハ」ノ二號ニ付キマシテ、實際官廳ニ於ケル所ノ監督ト申シマスカ、取締ト申シマスカ、其狀態ハドウ云フ風ニシテ居ラレマスカ、ソレヲ實ハ伺ヒタイノデアリマス、實ヲ申シマス、其工事ガ一萬圓以上ノモノデアツテモ、或ハ一萬圓以下、或ハ延人員ガ千人以上デアツテモ、千人以下ニシタガルノデハナイカト思ハレマスガ、是ガ取締ノコトニ付キマシテ、事務的デアリマスガ、一應御聽キシテ置キタイト思ヒマス

○北岡政府委員 事務的ニ申シマス、餘リ嚴格ニ致シテ居リマセヌ、併ナガラ實際ノ實情ヲ聞キマス、必ズシモサウ請負金額ヲ少クシテ、本法ヲ免レヨウトスルヤウナ傾向ハゴザイマセヌノデ、或ル場合ニハ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

○松尾委員 現行法ノ下ニ於キマシテハ、工場法施行令ノ第十五條ニ特別ノ規定ガゴザイマシテ、怪我ヲシテ一旦癒リマシタ者ガ、解雇後ノ場合ニ於キマシテハ、モウ請求スルコトガ出來ナイ、併シ雇傭繼續中デアラナラバ、何年經チマシテモ、亦再發シテ、其因果關係ガ證明セラレルナラバ、又事業主ガ扶助スル責任ガアル、此時効ノ規定ハ、矢張債權ノ請求權ノ發生後デ

本法ノ適用ヲ十分ニ希望スルヤウナ場合ガ
多イヤウデアリマス、ソレハ先程申上ゲマ
シタヤウニ、第一條第一項第二號ノ「ハ」ノ
工事ニ於キマシテハ、保險ニナツテ居リマシ
テ、例ヘバ建築工事ナラ、一萬圓ノ建築工
事デ、保險料二十八圓拂ヘバ、ソコデ勞働
者ガ何人死ニマシテモ、スツカリ政府ノ方
デ責任ヲ負テ下サル、土木工事デゴザイマ
スナラバ、一萬圓ニ付テ八十五圓ヲ拂ヘバ
モウ何人怪我人ガ出來マシテモ、事業主ハ
心配ハナイノデアリマスカラ、寧ロ保險ニ
付スルコトヲ喜ンデ居ルヤウデゴザイマ
ス、是ハ適用ガゴザイマセヌデモ、怪我ヲ
シタ場合ニ、法律ガナイカラ一文モ拂ハナ
イト云フ譯ニハ行キマセヌ、矢張怪我ヲシ
タ場合ニハ、相當ノコトヲシナケレバナリ
マセヌカラ、寧ロ保險ニ入ルコトヲ喜ブヤ
ウデアリマス、サウ保險ヲ嫌フヤウナ傾向
ハゴザイマセヌ、ソレハ手續ガ面倒臭イ、
餘リ能ク事情ヲ知ラナイトカ、今マデ怪我
ノ經驗モナイヤウナ者ハ、サウ云フ金額ヲ
胡麻化シタリ何カシマセヌガ、多少忘レタ
リ何カシマシテ、本法ノ適用ヲ受ケナイ者
ガゴザイマスケレドモ、サウ現在ノ所デハ
適用ヲ逃ゲル傾向ハゴザイマセヌカラ、嚴
格ニ調ベタリ何カハ致シテ居リマセヌ

○松尾委員 實際ハ事業ヲスル者、請負ヲ
スル者ハ、手續ガ面倒デ、厄介ニナツテ、今
私ガ御間シタヤウナコトニ傾クノデハナイ
カト考ヘテ居リマスガ、併シ一方ニ於キマ
シテハ、今御話ノヤウナコトデアレバ、大
變結構デアラウト思ヒマス——私ノ質問ハ
是デ終リマス

○森田委員長 外ニ質問ハアリマセヌカ、
本日ハ此程度デ質疑ヲ打切りマシテ、尙ホ
次ノ審議ノ時ニ、特別ナル質問ガアリマシ
タラ許スコトニ致シマシテ、本日ハ此程度
デ質疑ヲ打切りマシテ、來ル二十三日ノ午
後一時ニ開キタイト思ヒマス、是ニテ散會
致シマス

午後三時三十分散會

昭和十年三月二十日印刷

昭和十年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社